

# 安保法制の発動許すな！ 入間基地拡張ストップ！ 緑の森を守ろう！ 11.20 埼玉県集会

9月29日に施行された安保関連法制（戦争法）のもとで、埼玉県内にある米軍基地・自衛隊基地が大きく変わろうとしています。

とくに航空自衛隊入間基地に隣接する留保地には、緑の森を削って、自衛隊病院や災害対応拠点が建設されようとしています。自衛隊病院は、海外での戦闘やり患による重篤な患者の後送病院であり、災害対応拠点も自衛隊員や物資の集積拠点です。これらは事実上、基地の拡張・機能の強化であり、海外での戦争拠点化につながりかねないものです。

埼玉県内にある基地が、「専守防衛」の枠を超えて、海外での戦争のための拠点化されることを見過ごすことはできません。

11月20日、「安保法制の発動許すな！入間基地拡張ストップ！緑の森を守ろう！」を掲げて、集会を開催いたします。



被り負傷した野矢への救命処置に当たる「第一着での救助活動のイメージ」のイラスト。（取材時の取材内容が正確な保証はできません）

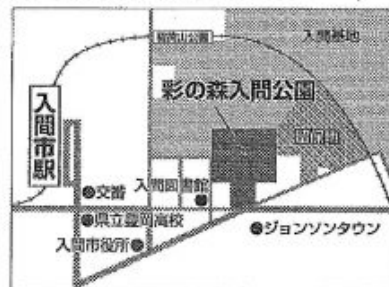
**11月20日(日)** 12:00 開場  
13:30 開会  
14:30 分終了（予定）

午後1時～オープニング文化行事、集会終了後、「入間市」駅までパレード

**埼玉県営彩の森入間公園  
多目的広場（地図参照）**

**安保法制の先取り許すな！入間基地拡張ストップ！  
緑の森を守ろう！11.20埼玉県集会実行委員会**  
電話 048-711-4434

協力 基地周辺の安全を考える集い実行委員会  
入間基地拡張ストップ！市民の会



西武池袋線「入間市駅」下車徒歩15分



# 自衛隊病院、災害対処拠点、感染症対策強化で 埼玉は海外での戦争の拠点に…!?

**「戦争する国」づくりと一体の  
基地の拡張には反対です!**

入間市、狭山市にまたがる航空自衛隊入間基地は、航空自衛隊最大の輸送拠点です。毎日のように同基地所属のC-1輸送機やT-4ジェット練習機などが離発着訓練などを繰り返し、周辺住民は騒音被害に苦しみ、墜落や落下事故の危険にさらされています。そのうえいま、基地に隣接する留保地（米軍基地跡地）に、自衛隊病院や災害対処拠点の建設が計画されています。戦争法（安保法制）を先取りする基地の拡張、強化につながるもので、見逃すことはできません。

## 自衛隊病院は海外での負傷兵を想定…?

2015年度の防衛予算の資料には、下図のようなイラストがありました。これは、果たして国内で起こる事態なのでしょうか？戦争法のもと、海外に派遣された自衛隊が、戦闘行為と一体のものとも見まがう任務をも遂行する。そうならば、「殺し、殺される」リスクも飛躍的に高まります。自衛隊病院の建設は、自衛隊員が、海外で戦闘で傷つき倒れることを想定したものといえます。

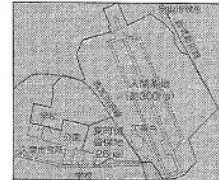


## 災害対処拠点では 各種訓練・演習もおこなう…?

災害対処拠点は、「空いているときは地元へ開放する」といわれています。が、実際には海外派遣を含むすべての自衛隊派遣部隊の集合・編成および部隊演習の場所として使われるもの。「平時」には自衛隊が各種訓練のために使い、「災害時」には1個師団（6〜8000人）が野営することを想定しています。市民の利用はあっても、きわめて限定的です。

## 感染症対策強化は海外展開と不可分…?

2016年度の防衛予算ではエボラ出血熱など「感染症対処能力の向上」が書かれています。防衛医大でおこなうとしています。海外に派遣された自衛隊員が、得体の知れないウイルスに感染したり、未知の病に冒されたりすることを想定したものと見えます。自衛隊の海外展開と密接不可分なものと言わざるをえません。戦時中、満州（中国東北部）で防疫給水活動をおこなった731部隊を想起させるものです。



安保法制の発動許すな！入間基地拡張ストップ！緑の森を守ろう！11.20 埼玉県集会実行委員会  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3階 埼玉県平和委員会内 電話・FAX048-711-4434

□□□□□□